

車いすより「歩きたい」

認知症の高齢者を治療する

福井記念病院（神奈川県三浦市）の病棟で4月半ば、車いすの人たちが囲むテーブルに

乾いた洗濯物が置かれた。

「これは女の仕事。私がや

る」。ヨウ子さん(83)が男

性患者の伸ばした腕を制して

手伝いをすると言い出し、エ

プロンをたたき始めた。

「お手伝いは好きですか」

とヨウ子さんにだすねると

意外な答えが返ってきた。「お

手伝いをすれば私の願いを職

員さんに聞いてもらえる。魚

心あれば水心だから」。その

時は、どんな意味なのか記者

には分からなかった。

5月に入ったある日、ヨウ

子さんが記者に目配せし、お

が難くなり、昨年10月に入

院した。2年ほど前、必

要のない救急車を呼ぶ。混

雑状態が続いて自宅での生活

が難しくなり、昨年10月に入

院した。2年ほど前、必

要のない救急車を呼ぶ。混

雑状態が続いて自宅での生活

が難しくなり、昨年10月に入

院した。2年ほど前、必

要のない救急車を呼ぶ。混

雑状態が続いて自宅での生活

が難しくなり、昨年10月に入

院した。2年ほど前、必

要のない救急車を呼ぶ。混

雑状態が続いて自宅での生活

が難しくなり、昨年10月に入

院した。2年ほど前、必

要のない救急車を呼ぶ。混

雑状態が続いて自宅での生活

が難しくなり、昨年10月に入

院した。2年ほど前、必

要のない救急車を呼ぶ。混

雑状態が続いて自宅での生活

が難しくなり、昨年10月に入

院した。2年ほど前、必

要のない救急車を呼ぶ。混

雑状態が続いて自宅での生活

が難しくなり、昨年10月に入

院した。2年ほど前、必

要のない救急車を呼ぶ。混

雑状態が続いて自宅での生活

が難しくなり、昨年10月に入

院した。2年ほど前、必

要のない救急車を呼ぶ。混

雑状態が続いて自宅での生活

老いて さまよう 閉鎖病棟から

5 リハビリ機会限られ

ヨウ子さんは八百屋の看板
自分で何でもしたいんだ」
込んでいるのだ。本当はね、
って自由になれる。そう思い
喜ばれ、抑制帯を外してもら
った。職員の手伝いをすれば
とヨウ子さんの「願い」を知
だの「どれしそだ。やっ
ていた抑制帯」がないのだ。
「今日は職員さんが付け忘れ
ていた抑制帯」がないのだ。
「お手伝いは好きですか」
とヨウ子さんにだすねると
意外な答えが返ってきた。「お
手伝いをすれば私の願いを職

員さんに聞いてもらえる。魚

心あれば水心だから」。その

時は、どんな意味なのか記者

には分からなかった。

5月に入ったある日、ヨウ

子さんが記者に目配せし、お

が難くなり、昨年10月に入

院した。2年ほど前、必

要のない救急車を呼ぶ。混

雑状態が続いて自宅での生活

が難しくなり、昨年10月に入

院した。2年ほど前、必

要のない救急車を呼ぶ。混

雑状態が続いて自宅での生活

が難しくなり、昨年10月に入

院した。2年ほど前、必

要のない救急車を呼ぶ。混

雑状態が続いて自宅での生活

が難しくなり、昨年10月に入

院した。2年ほど前、必

要のない救急車を呼ぶ。混

雑状態が続いて自宅での生活

院したが、症状は治まりつつ
あった。
閉鎖病棟は、認知症の激し
い症状を抑える治療の場だ。
「とにかく自分の力で歩き
1往復できた。子供のよつに
はじきぎ、両手で小さなカッ
シポトをつくった。
この人は家で穏やかに暮ら
していたころは、こんな顔を
していただのと思った。50人
いまでは自宅から週3回、介
護施設に出向いて専門家の指
導の下、歩行のリハビリを取
る。硬くなった背
筋をほぐし、足腰を鍛える。
「私、ずっと前から歩きた
かったんだよ」 二つて

「どこかへ自分の力で歩き
1往復できた。子供のよつに
はじきぎ、両手で小さなカッ
シポトをつくった。
この人は家で穏やかに暮ら
していたころは、こんな顔を
していただのと思った。50人
いまでは自宅から週3回、介
護施設に出向いて専門家の指
導の下、歩行のリハビリを取
る。硬くなった背
筋をほぐし、足腰を鍛える。
「私、ずっと前から歩きた
かったんだよ」 二つて



手すりを支えに歩行訓練するヨウ子さん。「おやんと歩けたよね、グーッだよ」と歩けた喜びで興奮していた神奈川県三浦市の福井記念病院で、手塚耕一郎撮影

6月、ヨウ子さんの思いが
ようやく病院に伝わった。待
ち望んでいた歩行訓練だ。

「どこかへ自分の力で歩き

1往復できた。子供のよつに

はじきぎ、両手で小さなカッ

シポトをつくった。

この人は家で穏やかに暮ら

していたころは、こんな顔を

していただのと思った。50人

いまでは自宅から週3回、介

護施設に出向いて専門家の指

導の下、歩行のリハビリを取

る。硬くなった背

筋をほぐし、足腰を鍛える。

「私、ずっと前から歩きた

かったんだよ」 二つて

「どこかへ自分の力で歩き

1往復できた。子供のよつに

はじきぎ、両手で小さなカッ

シポトをつくった。

この人は家で穏やかに暮ら

していたころは、こんな顔を

していただのと思った。50人

いまでは自宅から週3回、介

ご意見、情報をお寄せください。メール(okuhou@mainichi.co.jp)▽フアックス(03・3212・2813)▽〒100-8051 (住所不要) 毎日新聞特別報道グループ